

# さわがせ

号数 第 3 2 0 号  
発行日 令和 3 年 4 月 11 日  
発行所 金光教 韮 教会  
〒 550-0011  
大阪市西区阿波座 2-2-10  
TEL&FAX 06(6541) 6313  
mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



ご退任なされた金光平輝様



教主に就任なされた 金光浩道様  
(写真転載 金光新聞)

## 5 代教主 金光平輝様ご退任

## 6 代教主 金光浩道様ご就任

教祖様に始まり 5 代教主・金光平輝様が、平成 3 年より 4 代金光鑑太郎様の御後を受け継がれ、教主就任以来 6 期、30 年の長きに渡り、教主として御取次ぎのご用をお勤め下さいましたことは真に有り難いことでございます。

この度任期満了を持って退任されることになり、教主選挙により金光浩道様が 6 代目教主に就任されることとなりましたことをご報告致します。

前教主様におかれましては、この上とも御身お大切になされますことを願ってやみません。

また新たにご用下さる金光浩道様により、歴代金光様の御取次ぎの業が受け継ぎ現されますことは有難くもったいないことでございます。ここからのこの道の益々のご比礼を願わせていたきたいと存じます。



# お繰り合わせをいただく

教会長 鍵山 公 生

3月21日には春季霊祭をお仕えさせていただき、更に28日には瓜破霊園の  
韃教会墓前にて春の合同墓前祭をお仕えさせていただきました。

前々から墓前祭の日は一日中雨が降るとの予報で、屋外での祭典のため小々困  
難します。お天気だけは私たちの力では変えようがありません。しかしその中で  
雨が降らないようにと願うのではなく、祭典に差し支えなくお繰り合わせをいた  
だけるようお願いすることだと感じました。そこでお願いすると同時に、私たち  
に出来る万全の準備をして取り組む事だと考え、簡易のテントを2張り、パラ  
ソルを準備しました。

今回の墓前祭を仕えるのもう一つ問題が起こりました。韃教会では年間計画  
で午前10時半からお仕えする予定でしたが、同日韃教会墓前の横にある大阪教  
会のお墓で11時から新しく建立された納骨所（永遠のすみか）での納骨祭が仕  
えられると聞き、韃教会の祭典とちがいますので、30分早めて10時からに  
変更して仕えさせていただきました。

歴代和田先生の墓前と、信奉者の墓前、そして今回2柱の納骨をさせていただ  
き、それぞれに祭詞奏上、玉串奉奠、お話、記念撮影、片付けなど約1時間ほど

## 春の合同墓前祭（3月28日）

春の合同墓前祭が、瓜破霊園に於いて執り行われ、2柱の納骨祭も併せて執  
り行われました。



で滞りなく仕えられました。雨の方も少し湿る程度で、その上大阪教会の納骨祭にも差し支えることなく、本当にご都合お繰り合わせをいただき終了させていただきました。

### 初めて布教部講師に赴いて

私が大阪府連盟の布教部講師としてご用させていただくことになったのは今から38年も前のことです。他教会で初めてお話するので、いつも懇意にしてください先生教会に出講することにしました。

最近ではあまり夜に行われませんが、夜8時からの月例祭でした。教会に着くとお茶を出してください、それを口に含んだのです。すると急に奥歯が痛み出したのです。「困ったなあ」と思いその教会に痛み止めの丸薬がないかと尋ねましたがそこにはなく、仕方なく我慢しておりました。

考えて見れば私はその日、朝からセメントと砂に水を混ぜてモルタルを作って壁に塗る、左官工事をしたのです。今までしたことのない作業で大変苦労しながら何とか塗りつけました。その結果肩こりを起こしたのでした。それが原因で奥歯の弱っていたところが痛み出したのでしょう。

そんなことを考えつつお教会では月例祭が始まって、先生の祭詞奏上、玉串奉奠とすすめられていくのです。広前の横の控え室でその様子を耳にしながら、「この歯の痛みが治りますように」と必死に願っておりました。しかし一向に治りません。そしていよいよ祭典が終わり教会長先生が来られ、「よろしく願います」と挨拶されました。私はもう万事休す。ままよ！とお広前の神前にひれ伏して御祈念をしました。「親神様、これからお話をさせていただくことになっています。どうぞお繰り合わせ願います」と祈ってお説教台の前に立ちました。その時です。あれあれ、今まであれだけズキズキと痛んでいた歯の痛みがピツタリ止まっているのです。「不思議」です。「奇跡」としか思えないのです。

参拝者の皆さんに、今、神様から奇跡をいただいたとしか思えない。私の心から込みあげてくる有り難い出来事を、語らずにはおれない気持ちでいっぱいです。そこでその話させていただきました。そしてその日お話しする予定の話をも交えて、予定より長く1時間に渡って聞いていただきました。その間全く痛くなく、お話することができました。

その後神様にお礼申してすぐ家に帰らせていただきました。そして喉が渴いたのでお茶を一服頂いて心を落ち着けようと思いました。するとまた先ほどの痛みがぶり返してきたのです。今度はなかなか治りません。神様をお願いしながら患部に御神酒を付けました。すると痛みが治りました。「やれ有り難し」と思ったのも束の間、また痛み出したのです。何度繰り返しても痛みがとれる様子もなく、



頬を冷やししながら七転八倒していました。

心の中で神様に「いつになれば治りますか」と尋ねると、「一晩中我慢せよ」と神様の声が聞こえてきたように思います。「そんな殺生な」と思いましたが仕方がありません。その間心に浮かんで来ますのが、先ほどのお説教ご奉仕の時に、あのように痛みもなくおかげをいただいて一時間に渡ってお話が出来た。もし話せなかったら教会の先生にも参拝者の方にも申し訳が立たないことだった。それをここまでお練り合わせをいただいた。有り難いことだ。「本当に有り難うございます」とお礼を申さずにおれないその気持ちと、早く痛みを止めていただきたいという思いが交錯しながら夜が明けました。そして午前10時頃やっと歯医者に駆け込んで、麻酔注射を打っていただき、あの辛さから解放されたのでした。

教組様は「痛いのが治ったのありがたいのではない。いつも壮健<sup>ま</sup>なの<sup>め</sup>が有り難いのじゃ」と仰せのように、私たちは痛いのが治ったり、危険な目に遭うところから逃れた時は有り難いには違いないのですが、しかしもっとありがたいのは危険なことに会ったり、痛い目に遭わずに生活できている時のことに気づき、お礼申さなければなりません。

墓前祭時に、雨が降らないようにと神様に無理をお願いしたり、お説教させていただくのに歯痛を止めていただくようにと願うより、それぞれ神様にご都合お練り合わせをいただけますようにと願い、自分としてできる精一杯の努力をさせて頂くことがおかげに繋がると感じさせていただいたのでした。

(4月1日の月例祭教話より)

## 二代靱教会長 和田こゆみ先生 50年祭 が仕えられる(2月23日)

2代靱教会長、和田こゆみ先生が、昭和46年2月23日、83歳でご帰幽になられて本年は50年を迎え、去る2月23日午後2時より、大阪教会副教会長、白神紀美雄先生のご祭主の元、道隆若先生、輔教の金谷佐智さんが祭員にて、50年祭が仕えられました。

祭典では、神前にて奏上祭が仕えられ、霊前では、鍵山結生君の持つ点火口ウソクが献饌<sup>けんせん</sup>され、燭台に点火されて霊前祭が始まりました。祭詞ではこゆみ先生のご功績が称えられ、大阪教会親奥様や、教会長夫妻、参拝者全員が玉串をお供えさせていただきました。また祭主のご挨拶では、こゆみ先生の生い立ちや、金光教教師となられることになったきっかけなどを詳しくお話になられました。

祭典後は、鍵山唯志君のピアノ演奏後、こゆみ先生のご生涯をまとめたビデオが上映され、先生のお姿や、先生が残されたみ教えを紹介し偲ばさせていただきました。そして教会長の挨拶後、参拝者全員で集合写真を撮影し終了いたしました。



祭主ご挨拶  
大阪教会  
副会長  
白神紀美雄先生



←点火ロウソク  
が献饌されまし  
た

↓ 典楽をご奉仕されました



↑ 参拝者玉串奉奠





#### 4月

- 1日(木) 月例祭執行 午後2時
- 10日(土) ご本部 天地金乃神大祭代表参拝
- 11日(日) 月例祭並びに勸学祭執行  
午前10時30分
- 16日(金) 信徒共励会 午前10時
- 18日(日) うりわり墓参 午前7時
- 24日(土) 月例霊祭執行 午前10時30分

4月24日の月例霊祭は、時間を変更していますので、ご注意ください

#### 5月

- 1日(土) 月例祭執行 午後2時
- 2日(日) うりわり墓参 午前7時
- 3日(祝) 大祭準備大掃除 午前10時
- 8日(土) ご本部月参拝 午前6時教会出発

※5月9日は月例祭を執り行いませんのでご注意ください。

5月16日(日) 午前10時30分より

## 天地金乃神大祭奉行

祭典後説教、講題：「おかげの積み重ね」

講師：岸和田教会長 藤島 政安師

信徒会  
新年会開催  
1月11日



初月例祭後、信徒会総会が行われ、信徒会長のあいさつの後、令和2年の決算報告がありました。総会閉会后、お広前において、新年会が開催され、青年信奉者による、ゲーム大会が行われました。(写真は、重さピットリゲーム)